

平成18年度 鳩同会(参与会・幹事会)

日時:平成18年7月22日(土)午後2時~7時

会場:東京電機大学鳩山キャンパス本館2階212号室(懇親会:樹海)

出席者:村田耕治、林博文(司会)、小林幸宏、本橋光也、相原浩一、中村亮典、福田文夫、鈴木迪子、前田 治、大館昌男、小美濃友夫、井浦雅司、櫻村幸辰、村勢則郎、小島一記、枡川重男、柳田裕二、橘敏彦、丸山孝一郎、石橋一郎、神戸康吉、古東馨、小長谷登、坂口欒、里見忠篤、世古名知夫、灰谷玉太郎、細井宏、間辺幸三郎、峯澤意卓、森井曠雄、八木正夫、加藤克己、近藤史生(順不同)
長谷川康之、吉井裕、石澤兼二、肥田野芳夫、大橋純一、加藤良次(新潟電機会)
原島文雄(ご招待)、井上港、金川孝(特別出席)、新津靖(講師)、
笹川誠一、友常岳浩(校友会事務局)

・参与会・幹事会

はじめに、同窓会会長の村田耕治から挨拶があった。引き続き、ご来賓挨拶として校友会副理事長の加藤克己様からご挨拶を頂いた。

議事1.各委員会報告

- 1)規定検討委員会 村田会長から以下の説明があった。(野崎委員長が欠席のため) 会則・規定の見直しを図っている。関係する規定は、丹羽賞関連規定、助け合い基金規定、イベント援助規定、クラス会・OB会援助規定である。
- 2)広報委員会 相原委員長より以下の説明があった。
一昨年から歴代会長から幹事会に出席いただいております。HP 上での紹介を始めている。この他、校友会のしおり等について検討している旨報告があった。
- 3)準会員支援委員会 小林委員長から以下の説明があった。
丹羽賞・同窓会奨励賞の選考、助け合い基金の運営、OB 懇談会の支援、イベント支援等を行っている。錦祭中に OB 懇談会が開催される旨報告があった。本年は鳥人間コンテストおよび全日本ソーラーカー大会への参加があり、これらに支援することが報告された。
- 4)事業委員会 林委員長から以下の報告があった。
本年度の校外幹事会の日程開催地等の案内があった。詳細は後日連絡あり。学科別同窓会役員会、次年度総会等について報告があった。
- 5)総務委員会 本橋委員長から以下の報告があった。
昨年度から委員会制度のもとに予算管理が行われている。本年度も継続して行っ

ている旨報告があった。この他、議事録等文書管理を行っていること等報告があった。

以上の報告に対し、出席者から、鳩同会の名称の由来について質問があった。鳩同会には学科別同窓会等のメンバーを入れても良いのではないかと、裾野を広げる方向で考えたかどうか。

議事2. その他

会長から 100 周年事業に対する寄付の額について意見を伺いたい旨、話があり意見交換が行われた。

. 原島学長との懇談会

原島学長から本学の改変について、以下のお話を頂いた。

本学が改変に至った経緯、現在の問題点等について説明があった。産業界からは評価は高いが、受験界からは評価が低い。これは、現在の学科編成は受験生を見たものになっていないのが問題ではないか。これからは、受験生に目を向けるとともに、『人間のための科学技術』を目指す必要がある。つづいて、新学部について説明があった。新生 - 東京電機大学の創成に向けて皆さんの協力をお願いしたい。

以上のお話があった後、出席者から以下の質問があった。

大学名の変更について、大学の使命としての社会貢献、工学部二部のあり方について質問があった。この他、広報の方法(プロジェクト・アトム)について等、多くの質問が寄せられた。

. 講演会

「裸眼による3D映像装置について(副題:世界最大の大型裸眼立体ディスプレイの開発と愛知万博での展示)」情報環境学部の新津靖 教授(ネプラス株式会社 代表取締役)から講演をして頂いた。

その後、質疑応答が行われた。

. 懇親会

同窓会長の挨拶の後、懇親会が始められた。また、新潟電機会の皆様の紹介があった。

以上、

書記: 本橋光也